令和２年度　取組報告　　平城東中学校区地域教育協議会

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取 組 目 標　**「地域力によって育成する心豊かな子ども」**

【今年度の取組紹介】

◆地域の方々にとって、学校がこのような長い休業期間となったことは驚きと不安であったと思いますが、常に協力的で、学校再開後まもなく様々な形でボランティアに来ていただきました。

◆図書館開放事業では、返却した本の消毒について、ボランティアさんと教職員で試行錯誤しながら子どもたちの安全に留意し、図書活動の活性化を止めることなく取り組んでいただきました。

◆地域との協働事業について地域の方からアドバイスを頂き、パーティションを購入し、校区内すべての園や学校で地域の方とシールドペイント事業を実施しました。これはパーティションを購入して並べるだけでなく、子どもたちが自由な発想で透明な板に絵を描き、その作品を活用することで、このパーティションの意味を理解し、感染に注意を払うことや、ものを大切に使う心を育てていこうという願いが込められています。

【今年度のまとめ】

地域行事が中止になり、協議会の活動がかなり縮小した一年でしたが、今できることに目を向けて活動できたと思います。

【来年度に向けて】

感染対策をしっかり講じた上で、地域行事をできるところから実施したいと考えています。限られた予算を子どもたちや地域の方々の安全な教育活動に活かす方策をたて、丁寧に進める必要があります。地域人材の力は学校・園にとって大きな助けであり、地域に根ざす子どもたちの育成をともに考えていきたいです。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立平城東中学校運営委員会**

めざす子ども像

自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取 組 目 標

「知ろう、地域のすばらしさ！本物に触れる感動を子どもたちに！」

【今年度の取組紹介】

今年度は長期間にわたる臨時休校の末、多くの行事が規模の縮小や中止になってしまいましたが、学校に生徒たちが登校するようになると、地域の方々が図書室の開放や環境整備、学習支援に集まってくださり、学びに潤いをもたらしてくれました。

◆学校の美化活動では、これまで同様に遊歩道の清掃や樹木の手入れ、花壇作りを地域と生徒が一緒に活動しました。

◆３年生は高齢者疑似体験授業を実施しました。足腰に装具を付け、杖をついて階段を昇降するため、地域の方に階段付近等に立っていただくなど安全面に配慮して実施することができました。

◆生徒の健全な成長を支えるため、１年生と３年生に向けて性教育講演会を実施しました。また、奈良の伝統文化学習として筆作り職人を招き、１年生が体験をしました。実際に目の前で行われる巧みな技術を見ることは、オンラインでは得られない貴重な時間になりました。

【今年度のまとめ】

地域行事の中止や会合の縮小など、これまでにない変更を余儀なくされた一年でした。そのような中でも学校には地域や団体から多くの援助をしていただき、本物を見せたり体験させることができました。これからも地域とともに子どもの育成に努めたいと思います。

【来年度に向けて】

もっと学校を知りたい、もっと学校の手伝いをしたい、という声を地域の方からいただきます。

保護者だけでなく、子育てを終えた世代の方々との交流は、地域に根ざす学校として何より心強く、子どもたちの居場所作りの上で大切な存在です。子どもたちをより多くの目と心で育てられるよう、また、地域行事を１つでも安全に実施できるよう、考えていきたいです。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立朱雀小学校運営委員会**

めざす子ども像　**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取 組 目 標　**地域の方々に支えられていることを実感しながら，児童が主体的に学ぶことができるための環境整備と取組の充実**

【今年度の取組紹介】

今年度はコロナ禍により，多くの取組が中止または多くの制約を受ける状況となりました。その中でも，地域の協力を得ながら，できる限りの方法を模索し，取り組みました。

○学習支援事業（２年　体験学習「芋掘り体験」「収穫祭」）

２年生の栽培体験学習として地域の方々の手を借りながら，さつまいもの苗を植え，収穫し，焚火から焼き芋を作る体験学習を行いました。自分たちの手で土を触り，作物を育てる活動を通じて，地域の方々と交流を深め，人との付き合い方を学ぶ貴重な場にもなったようです。

○環境整備事業

学校の広い敷地を生かして，花いっぱい，緑いっぱいの素晴らしい環境づくりに取り組んでいます。

○図書環境整備事業

読書推進活動は図書館整備活動を中心に進めました。本年度はコロナ禍により，予定していた読み聞かせの活動は中止となりましたが，子どもたちも楽しみにしている活動なので，一刻も早い再開を望んでいます。また，北部図書館の司書の方と連携し，様々なジャンルの本を紹介してもらったりすることで，子どもたちの読書意欲も高まっています。

【今年度のまとめ】

○体験学習事業では，実際に触れ，自ら経験する貴重な機会となりました。様々な方との触れ合う中で，コミュニケーション力や仲間と力を合わせて協働する力を身に付ける良い機会にもなりました。

○読書活動推進事業では，取組がしっかりと根付き，休み時間も本に触れる児童が数多くみられました。また，図書室の整備も進み，様々なジャンルの本に親しむ児童が増え，子どもたちの知識の広がりにも役立っています。

○環境整備事業では，子どもたちが安心・安全に過ごせる環境づくりに努めるだけでなく，花や自然いっぱいの素晴らしい環境に保たれています。子どもたちもこの素晴らしい環境を維持しようと，工夫しながら取り組んでくれています。

【来年度に向けて】

○コロナ禍の中，実施ができない取組も多かったですが，地域に根付いてきた取組も多く，地域の助けを得ながら，工夫し，取り組むことができました。来年度以降も地域と連携しながら，継続及び推進を目標に事業を進めていきたいと考えています。また，協力していただける人材を増やし，新たな計画と組み合わせながら，さらなる充実を図っていきたいです。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立佐保台小学校運営委員会**

めざす子ども像　**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取 組 目 標　**学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたり、子どもたちが感動するような体験活動を通した魅力あふれる取り組みの継続と地域人材の活用・発掘**

今年度の取組紹介

〇地域に学ぶ活動事業について

今年は新型コロナウィルスの影響で、田植えを一緒にすることはできませんでしたが、稲刈りは、５年生の児童と地域の方が一緒に実施しました。児童は、地域の方から稲刈りの仕方を教えていただきながら頑張りました。

稲刈りから１週間後、笹がけにして乾かした稲穂を昔ながらの方法で脱穀しました。千歯こきを上手に回転させるのが難しかったけれど、地域の方に助けてもらいながら、うまく回せるようになりました。地域の方と一緒に活動する中で、米作りの大変さがよくわかりました。また、地域の方に感謝する気持ちも生まれました。出来上がったお米は、児童が持ち帰って食べました。子どもたちは、生産したものを食べる活動をとおして、食に対する興味・関心が深まりました。

今年度のまとめ

新型コロナウィルスが猛威を振るう中での取組でしたが、活動自体をなくすのではなく、感染症対策を実施しながら、地域の方と相談を繰り返しながら事業を実施しました。改めて、学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長の支援にあたり、子どもたちは体験活動を通して多くの事を学ぶということを確認できた一年でした。

今後さらに地域とのふれあいを大切にし、地域の方に助けてもらいながら、自分たちの郷土を愛する子どもたちを育てたいと思います。

来年度に向けて

様々な取組は長期的な視野に立ち、事業を継続的に行うことにより大きな成果が得られると考えます。来年度も活動内容の工夫・精選を検討し、本事業を継続していきたいと考えております。

具体的には、佐保台小学校としての学校支援ボランティアの仕組みを定着させ、地域の方に教育活動に参画していただき、教職員と一緒に「チームとしての学校」を創り上げていきたいです。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立左京小学校運営委員会**

めざす子ども像　**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標　**子どもたちが地域を知り、地域の人達との繋がりを意識するとともに、豊かな感性や様々な知識・技術を身につけて成長していける取組の充実を目指す。**

【今年度の取組紹介】

本校区には、地域の方々が憩うことができる、緑あふれる「左京の森」があります。そこには左京小学校の花壇もあり、毎年、環境整備活動の一つとして地域ボランティアのグリーンサポートクラブの方々にお手伝いをしていただきながら、３年生の子どもたちが春と秋に花植えをしています。

今年も、グリーンサポートクラブの方が事前に肥料を入れ整地して下さった花壇に、ベゴニア、日日草、パンジー、ベゴニアなど色とりどりな花を植えました。グリーンサポートクラブの方に丁寧に花の植え方を教えてもらいながら、子どもたちは本当に楽しそうに花植えを楽しみ、植え終わった花壇を見てとてもうれしそうにしていました。

グリーンサポートクラブの方も「来られた地域の方々もきっと喜びますよ。」と話してくださいました。

本事業において、子どもたちは地域の方と一緒に左京の森を心和む場所にしようとしています。美しい花壇を造ることを通して、子どもたちは「左京」は自分たちのまちであり、地域の一員である自分たちもきれいなまちづくりに貢献できたと実感してくれたと思います。

【今年度のまとめ】

・今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地域の方々と触れ合う機会を設けることが難しい状況がありましたが、「左京の森」の花壇の整備を通して、子どもたちが地域の人たちとのつながりを意識する機会を設けることができました。

・好話会の方々による読み聞かせを子どもたちは楽しみにしており、話してくださる物語に子どもたちは耳を澄ませて、聞きこんでいました。人の声を通して、物語を聞くことは子どもたちの感性を豊かにしてくれています。コロナ禍の中、子どもたちの心を温かくしてくれる事業となりました。

【来年度に向けて】

・今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一つの場所に多くの人が集まって取り組む事業ができませんでしたが、次年度はいろいろな人と触れ合うことができる事業を企画していきたいと考えています。多くの人との交流を通して、地域を知り、地域の人達との繋がりを意識する子どもの育成を目指すとともに、子どもたちの感性を豊かにしていきたいです。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立左京こども園運営委員会**

めざす子ども像 自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標　地域と連携しながら心豊かに生き生きと活動できる子どもを育てる

今年度の取組紹介

◆お話の会

地域の読み聞かせのボランティアの皆さんにより、継続して行っていた　「お話の会」は、9 月からの実施となりました。エプロンシアターや大型絵本、紙芝居など年齢に応じた楽しいお話は子どもたちもとても楽しみにしています。毎月 2 回実施する事で、期待を持ちながら落ち着いてお話を聞く態度が身についてきています。また、絵本コーナーに棚を作り整理する事で、絵本を見やすく、取り出しやすくなり、より興味をもって絵本を手にとる姿が増えてきました。
絵本貸し出しを楽しみにする子どもも増え、お話が好きな子どもに育ってきていることが感じられます。

◆左京の森での芋の苗植え・芋堀り体験

今年も左京グリーンサポートの皆さんが、「左京の森」の畑の整地などをしてくださいました。そして子どもたちに丁寧にさつま芋の苗植えを教えてくださり、その後収穫までの貴重な体験もさせていただくことができました。共に活動し常に見守りお世話してくださることに親しみを感じると共に感謝の気持ちを持つことができました。

今年度のまとめ

○今年度はコロナ禍により、地域の方と活動する機会が十分に持てませんでしたが、少人数で行うなど内容や方法を工夫して実施することで、地域の方と関わることができました。

○継続して地域の方々と関わる機会をもってきたことで、地域の方々への親しみが増し子ども達からは、「楽しかった」「また、やってみたい」の声も聞かれ、交流の場に期待しながら参加し、次回を楽しみにする姿へとつながってきています。

来年度に向けて

○今年度実施できなかった事業を来年度にもつなげ、継続して地域の方々と関わる事で、園児の経験や体験を広げ、親しみもって関わっていけるように事業を進めていきたいと考えています。

○地域の教育力を最大限に活かせるように情報収集に努め、無理のないよう保育に取り入れながら、園児の豊かな経験につながるようにし、地域に根ざしたこども園を目指していきたいと思います。

令和２年度　取組報告　　**奈良市立朱雀こども園運営委員会**

めざす子ども像　**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標　**地域とのつながりを大切にし、地域の方々やコーディネーターとの連携を図り、子どもの心を動かせるような、感動体験ができるようにする。**

【今年度の取組紹介】

＜体操教室＞

年間３回講師の先生を招いて、体操教室を行いました。跳ぶ、走るなどの動きから、運動遊具を使って体全身を動かすことにより、体力向上と体幹を鍛えるだけでなく、体を動かす楽しさを味わうことができました。このことで、子どもたちの日々の遊びにも繋がり、継続してしなやかな心身を育むことができました。

＜おもしろ理科実験＞

地域の教育力を生かし、地域の「平城ＮＴ楽しい理科実験研究会」の方々に来ていただいて、ペットボトルロケットと、大型シャボン玉を見せていただきました。ペットボトルが空高く上がるのを見て感動を味わい、「どうして？」「やってみたい」と科学への驚きや意欲が育まれました。

＜絵本の読み聞かせ＞

絵本に親しむというねらいをもち、「朱雀お話の会」の方に来ていただき、腹話術やお話を読み聞かせしていただいています。静かな空間で年齢にあった楽しい絵本との出会いは、地域の方の優しさや温かさと心に触れる体験であり、感情を豊かにし、絵本好きな子どもを育てています。

【今年度のまとめ】

今年度はコロナ禍の中で、少人数や戸外で行うなど工夫しながらの活動となりましたが、地域や講師の皆さまに支えられながら楽しく行うことができました。

ゲストティーチャーを招いての事業では、遊びの中から興味を持ち、専門的な知識を身につけることができました。また、環境ボランティアさんや地域の方と自然の中で触れ合うことにより、思いやりの心、優しさ、労働することの気持ちよさや、様々な感動から、豊かな感性も育まれました。終わりには、「また、来てね」「また来るね」と地域の方と子どもたちのやりとりや、「子どもたちから元気を頂きました」という地域の方の声を頂き、温かい時間を過ごすことができ感謝しております。

【来年度に向けて】

今年度の取組で学んだことを職員間で共有し、子どもたちの心が豊かに育まれるように、日々の保育で生かしていきたいと思います。

また、今年度の事業とできなかった事業を更に充実し、自信を持ち何事にも挑戦する園児の育成に向けて進めていきたいと思います。